

関係機関・団体・課・室長 様

兵庫県農政環境部長

平成26年度兵庫県農業気象技術情報第6号(10月情報)について(送付)

このことについて、下記のとおり情報を作成しましたのでお送りします。

記

1 気象経過・予報から想定される栽培上の留意点と対応策

作物	地域	栽培上の留意点	対応策
水稲	全県 共通	<p>1 生育状況 中～晩生品種の出穂期は、平年並み。中～晩生品種の成熟期は低温の影響でやや遅いと見込まれる。</p> <p>2 病害虫 (1)トビイロウンカは9月12日に警報が発表され、発生は多いと予想されている。県西部で坪枯れが発生している。発生圃場率が依然として高く、要防除密度を超える圃場が増加していることから、坪枯れによる減収被害を受ける圃場が多くなることが予想される。 (2)ヒメトビウンカの発生はやや多いと予想される。</p>	<p>1 生育状況 好天が続いているので、土壌の乾燥を防ぐため、10月中も走り水を行う。 出穂後の積算温度は1,000℃～1,050℃が必要で、適期収穫に努める。収穫籾は急速に乾燥させないように注意する。毎時乾減率の目安は、0.8%以下である(酒米は0.5%以下)。</p> <p>2 病害虫 (1)これまで本田での薬剤散布を実施していない圃場は、収穫時期に注意して直ちに防除する。 (2)イネの刈り取り株のひこばえは本虫の生息場所となるので、今年縞葉枯病が多発した地域では収穫後すみやかにすき込む。</p>
大豆	全県 共通	<p>1 生育状況 生育は全体に旺盛で、8月の降雨や台風で、一部草丈が長いところでは、倒伏が見られる。</p> <p>2 病害虫 (1)立枯性病害は、やや少ない発生と予想される。 (2)吸汁性カメムシ類、ハスモンヨトウは、平年並みの発生と予想される。</p>	<p>1 生育状況 普通大豆は適期収穫に努める。 サチユタカは刈り遅れると、裂莢しやすく、品質が低下する。 <刈り取り適期の目安> ・子実水分20%程度(莢を振ると音がする)になったとき。 ・コンバイン収穫の場合は、茎水分50%以下になったとき。目安としては茎がやや黒みを帯びて、手でポキッと二つに折れるとき。刈り取り前には青立ち株を引き抜く。 黒大豆は排水対策に努め、土壌水分を適切に保つ。</p> <p>2 病害虫 (1)圃場の排水対策を行い、発病しにくい環境を作る。 (2)圃場をよく観察し、必要に応じて防除を実施する。</p>

麦	全県 共通	<p>1 栽培管理 播種準備の留意事項</p> <p>(1) 計画的な播種を行うため、水稻刈り取り後、出来る限り早く、圃場の排水対策を行う。</p> <p>(2) 出芽、初期生育を良くするため、圃場のpH調整を十分に行う。pHが低いと生育不良を招く。</p> <p>(3) 有効茎数を確保するため、地域に合った播種時期・播種量とする。</p> <p>(4) 施肥播種機の調整をしっかりと行う。</p>	<p>1 栽培管理</p> <p>(1) 水稻の刈り取り後、耕うん前に弾丸暗きよや額縁明きよを設け、表面排水を行う。特に圃場の四隅がコンバイン収穫時に轍(わだち)ができないようにする。本暗きよがない場合は、通常の弾丸暗きよの設置に加えて、排水口手前を40cm程度掘り下げ、3本程度の放射状の弾丸暗きよをサブソイラーで施工する。</p> <p>(2) 石灰質資材は早めに施用し、土壌pH6.0～7.0になるように調整する。土壌pHが低い圃場は、施用量を増やす。ただし、施用後、播種直前までは耕うんしない。</p> <p>(3) 耕うんは播種直前に行い、県北部及び中山間部では10月下旬から、県南部では11月上旬から播種を行う。 播種量は10a当たり、10月下旬で6kg、11月上旬で8kg、播種時期が遅くなれば、播種量を増やす。ただし、「ゆめちから」は10月下旬から播種を行う。</p> <p>(4) 播種前に播種量、施肥量、播種深度を調整してから播種し、播種時に微調整する。播種後、排水溝の設置、手直しを行う。</p>
キャベツ	全県 共通	<p>1 栽培管理</p> <p>(1) ゲリラ的な降雨が各地で発生し、定植後の苗の生育不良が見られる。</p> <p>(2) 適切な時期に追肥、除草を行う。</p> <p>2 病害虫</p> <p>(1) ハイマダラノメイガは、平年並みの発生と予想される。</p> <p>(2) ハスモンヨトウは、平年並みの発生と予想される。</p>	<p>1 栽培管理</p> <p>(1) ゲリラ的な降雨は、今後も各地で発生する可能性があるため、圃場の排水溝の確保に努める。 特に、排水口付近にたまった土砂や降雨で崩れた畝を再度、管理機等で谷上げを行う。 風雨で茎葉が傷んだ場合、病害の発生に注意し早期に防除する。 生育が遅れている場合、液肥の葉面散布が早期回復には効果がある。</p> <p>(2) 1回目の追肥は、条間に施用し追肥時期が遅れて作業が困難にならないよう注意する。追肥時に三角ホーなどで雑草防除も行なう。 2回目の追肥は、結球開始初期に畝肩か畝間に施用する。 追肥は遅れないように計画的に行う。</p> <p>2 病害虫</p> <p>(1) 育苗期の加害は致命的なので、不織布や寒冷紗などにより本虫の飛来・産卵を避ける。</p> <p>(2) 本虫は、発生初期に対応する。被害が大きいのので早期防除に努める。</p>
果樹	全県 共通	<p>1 生育</p> <p>(1) 高温や降雨による果実品質の低下に留意し、適期収穫に努める。</p> <p>(2) 障害果や腐敗果等の除去に努める。</p>	<p>1 生育</p> <p>(1) 熟度や果皮色等から、収穫適期を判断する。</p> <p>(2) 温州ミカンの日焼け果は裂果しやすく、病害の発生源となることから仕上げ摘果や樹上選別で除去する。 イチジクの落果や腐敗果は、ショウジョ</p>

	<p>(3)収穫後は、樹体栄養の回復を速やかに図る。</p> <p>樹種別の生育状況 温州ミカン：夏期の多雨で、果実の肥大は良く酸抜けは早い が糖度が低い傾向である。また、一部で果実の裂果が発生している。</p>	<p>ウバエ類の発生につながるので、できるだけ早く園外に持ち出し処分する。</p> <p>(3)樹体栄養の回復を図るため、礼肥の施用、少雨時の灌水を行う。</p>
--	--	---

◎防除については「病害虫発生予察情報」及び「兵庫県農薬情報システム」を参考にすること。
※本情報は、9月25日時点のデータを元に作成しています。

2 気象予報

(1) 近畿地方の向こう1か月予報（9月27日～10月26日）

[平成26年9月25日 大阪管区気象台発表]

【概要】				
天気は数日の周期で変わる見込み。近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。平均気温は、高い確率50%				
週別の気温は、1週目は高い確率50%。3～4週目は、平年並みまたは高い確率ともに40%。				
【確率】				
○ 気温、降水量及び日照時間	【近畿地方】	□低い(少ない) □平年並 □高い(多い) (単位:%)		
	気温	20	30	50
	降水量【日本海側】	30	40	30
	降水量【太平洋側】	30	30	40
	日照時間【日本海側】	30	40	30
日照時間【太平洋側】	40	30	30	
○ 各週の気温経過	【近畿地方】	□低い □平年並 □高い (単位:%)		
	1週目	20	30	50
	2週目	30	40	30
	3～4週目	20	40	40

(2) 近畿地方の向こう3か月予報（10月～12月）

[平成26年9月24日 大阪管区気象台発表]

【概要】					
この期間の平均気温は、平年並みまたは高い確率ともに40%。降水量は、近畿太平洋側で平年並みまたは多い確率ともに40%。					
10月：天気は数日の周期で変わる見込み。太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。					
11月：日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。					
12月：日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多い見込み。太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ない見込み。					
【確率】					
○ 気温	【近畿地方】	□低い □平年並 □高い (単位:%)			
	3か月	20	40	40	
	10月	20	40	40	
	11月	30	40	30	
	12月	20	40	40	
○ 降水量	【近畿日本海側】	□少ない □平年並 □多い (単位:%)			
		3か月	30	30	40
		10月	30	40	30
		11月	30	40	30
		12月	30	30	40
	【近畿太平洋側】	□少ない □平年並 □多い (単位:%)			
		3か月	20	40	40
		10月	30	30	40
		11月	30	40	30
		12月	20	40	40

※ 気温・降水量・日照時間は低い・平年並・高い（少ない・平年並・多い）の3階級で予報されます。階級の幅は、平年値の作成期間（1981～2010年）における各階級の出現率が33%となるように決めてあります。

ホームページアドレス

- ・ 「病虫害発生予察情報」
<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bojo/index.htm>
- ・ 「兵庫県農薬情報システム」
<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>
- ・ 「ブラスタム・病虫害発生情報携帯サイト」
<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/mobile>
- ・ 「近畿中国四国地域水稻生育予測サイト」
<http://tekisaku.jp/ricediag/>



ブラスタム・病虫害発生
情報携帯サイトQRコード

問い合わせ先

本情報に関すること

- 兵庫県農政環境部農林水産局農産園芸課 TEL (078)341-7711(代表)
 - 農産班：農産担当 内線 4074
 - 農産班：野菜担当 内線 4054
 - 花き果樹班 内線 4066

技術内容に関すること

- 県立農林水産技術総合センター
 - 企画調整・経営支援部 TEL (0790)47-2435
 - 農業技術センター 農産園芸部 TEL (0790)47-2410
 - 農業技術センター 病虫害部 TEL (0790)47-1222
 - 北部農業技術センター 農業・加工流通部 TEL (079)674-1230
 - 淡路農業技術センター 農業部 TEL (0799)42-4880

兵庫県ホームページでも本情報を公開しています。

URL：http://web.pref.hyogo.lg.jp/af11/af11_000000097.html

(兵庫県トップページ>食・農林水産>農業>農作物>農業気象技術情報)